

*****認知運動療法士のための臨床道場*****

第1回認知運動療法アカデミア

—片麻痺の観察、プロフィール、治療計画、訓練—

[知識から実践へ]

日本認知運動療法研究会はマスター・コース終了者を「認知運動療法士」として認定している。既に、約 200 名の「認知運動療法士」が全国各地で認知運動療法を臨床展開していることになる。だが、マスター・コース終了が未来に向けての「出発点」であることはサントルソのコース終了時に確認している。

知識は実践によって価値が決まる。認知運動療法の実践能力は鍛えなければならない。だから、認知運動療法アカデミアを「認知運動療法士のための臨床道場」と呼ぶことにした。もちろん、鍛えるのは筋肉ではない。脳である。その鍛えられた思考によって臨床変革に挑戦する時、真の認知運動療法士が誕生するだろう。

第1回認知運動療法アカデミアは、2000年に第1回認知運動療法学術集会を開催した思い出の地「神戸」で開催することにした。内容は「片麻痺の観察、プロフィール、治療仮説、訓練」とし、脳卒中片麻痺の評価から治療に至るプロセスを詳細かつ具体的に教育する。アカデミアという場にふさわしく、道場という名に恥じないよう、息が詰まるほど真剣に論議し、認知運動療法士の臨床実践能力を高めたいと考えている。

なお、認知運動療法アカデミアは日本認知運動療法研究会の公式開催である。これによって研究会は「コース」、「学術集会」、「アカデミア」の三つの教育プログラムを展開することになる。

再会を楽しみに。

日本認知運動療法研究会

会長 宮本省三

第1回認知運動療法アカデミア[受付方法]

参加資格：マスターコース修了者

日時：2007年4月14日(土)、10:00 受付開始、10:30-19:00

会場：神戸アートビレッジセンター(神戸市)

参加費：5000円

レセプション費：5000円

(レセプションは4月14日(土)PM20:00より、ハーバーランド内、イタリア料理「セントラルデリグリル」にて開催、会場から徒歩にて移動、希望者のみ)

参加登録方法：下記メールアドレスよりお願いします。

参加登録先：認知運動療法アカデミア準備室(高知医療学院内)メールアドレス takahashi@kochi-iryogakuin.com (@マークは半角に変換してメールの作成をお願いします。また、氏名、所属レセプション参加・不参加を明記して下さい)

申込期日：平成19年3月31日(土)まで

参加費とレセプション費の振込期日：平成19年4月7日(土)まで

振込先：参加登録の後、メールにて振込先(郵便局、日本認知運動療法研究会)の口座番号を返信しますので前納をお願いします。

注) 宿泊は各自で手配して下さい。また、会場には駐車場がありませんので、公共交通機関のご利用をお勧めします。近隣の駐車場については、神戸アートビレッジセンターのホームページで確認できます。また、会場の収容人数に達し次第、募集を打ち切らせていただきます。

注) 参加者はカルロ=ペルフェッティ著(小池美納訳)「認知運動療法—運動機能再教育の新しいパラダイム—,協同医書出版,1998」の第6章「治療計画」を熟読し、本またはコピー(p209-217)を持参すること。

LA RIEDUCAZIONE MOTORIA DELL' EMIPLEGICO ADULTO

片麻痺の運動再教育

DALL' OSSERVAZIONE ALL' ESERCIZIO

LA PIANIFICAZIONE DEL TRATTAMENTO RIABILITATIVO

観察から訓練へ

認知運動療法の治療計画

[片麻痺の観察、プロフィール、治療計画、訓練]

AM:10:00 受付

AM:10:30 開始

第1部 リハビリテーションは”驚き”から始まる

- ・宮本省三(高知医療学院)

第2部 スキオ病院とサントルソ認知神経リハビリテーションセンターでの臨床体験

- ・池田由美(首都大学東京)
- ・池田耕治(高知医療学院)
- ・宮本省三(高知医療学院)
- ・山田真澄(摂南総合病院)
- ・高橋昭彦(高知医療学院)

第3部 認知理論—認知問題—知覚仮説—解答(宮本省三)

観察(外部観察と内部観察)

問題点

道具

難易度

訓練

昼食 認知運動療法ギャラリー鑑賞

第4部 認知理論—特異的病理—(プロフィール)—道具—訓練

[観察から訓練へ](高橋昭彦)

観察(特異的病理)

問題点(プロフィール)

中間目標

最終目標

訓練

検証

[訓練の組織化](池田耕治)

名称

身体部位

内容

感覚モダリティ

道具

要求

訓練

応用

目標

休息

[訓練の展開](高橋昭彦)

訓練の組み立て方

知覚の複雑性

注意の複雑性

記憶の複雑性

判断の複雑性

言語の複雑性

第5部 認知理論—特異的病理—(プロフィール・意識経験・行為の表象・プロトコール)—道具—訓練(宮本省三)

観察(特異的病理)

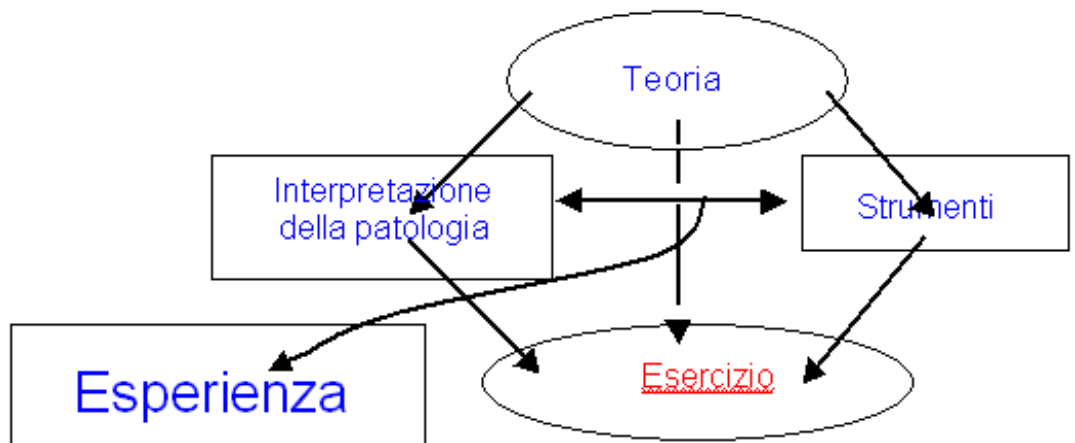
観察(プロフィール・意識経験・行為の表象・プロトコール)

問題点

中間目標

訓練

検証



[経験の構築]

意識経験

行為の表象

プロトコール

情報性

右麻痺への訓練

左麻痺への訓練

学習効果

反証可能性